

平成27年1月25日にくまもと県民交流館パレシアにて、第7回熊本県文化財調査報告会を実施しました。報告会の様子については、熊本県のホームページにも掲載していますのでご覧下さい。

## 体験活動



子どもたちを対象にした体験活動での様子です。今回は能楽体験教室、三種の神器を模したプラホビー作成、紙粘土で土偶マグネットとミニ甕棺の小物作成を実施し、約30人の参加がありました。能楽体験教室では、県内の愛好家のみなさんで結成されている<sup>こんぱるしょうゆうかい</sup>今春松融会の皆様のご指導のもと、実際に本物の面をつけての体験となりました。土偶マグネット作成では自分で土偶に関する本を持参し、熱心に取組む子どもの姿もありました。



## 調査等の発表

文化課の取組み内容を大型スクリーンやポスターセッションで発表しました。今回は、県内の埋蔵文化財発掘調査、文化財保護の取組み、装飾古墳館・鞠智城温故創生館からの報告、そして東日本大震災復興支援（平成25年度宮城県派遣）での埋蔵文化財発掘調査について発表しました。ポスターセッションでは、発掘調査等で出土した遺物等を実際に見たり、触れたりすることもでき、たくさんの熊本県の文化財の情報に触れることができました。



はば っる  
幅・津留遺跡では、弥生時代の大型建物が描かれた土器が出土しました！